

令和6年度 学校関係者評価委員会報告書

令和6年度学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

I. 評価の基本方針

(1) 評価の目的

1. 実践的な職業教育を行う機関として、関係業界等のニーズを踏まえ、どのような理念、目的、目指す人材等を掲げているか。また、質の高い職業教育が享受できる学校運営へと改善し、専修学校教育の発展を目指すために行なう。

(2) 評価の体制

1. 学校長を中心に、主任、担任、事務長、各教科担当で評価し、評価委員会で議論し報告書を作成する。

(3) 評価方法と基準

1. 評価項目ごとに、客観的なデータに基づき評価する。
2. 必要に応じて、聴き取り、アンケートなども活用する。
3. 基準：適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや適切・・・2、不適切・・・1

(4) 評価の公表

1. 自己評価の報告書には、取り組みと課題を明らかにし、今後の改善策を簡潔かつ明瞭に記述する。
2. 学生、教職員の個人情報保護に留意して、報告書を作成する。
3. 学校評価の結果は学校窓口にて常時閲覧可能とする。

(5) 結果に基づいた学校運営の充実と改善

1. 臨時委員会において、分析及び課題の洗い出しを行なう。
2. 次年度に向けた目標を設定し、全職員共通認識のもとで、学年、教務、指導、校務の分掌単位で業務改善に取り組む。

II 教育目的と教育理念

【目的】

本校は、歯科衛生士法に基づき、歯科衛生士に必要な専門教育を行い、社会人、医療人としてふさわしい人材を育成することを目的とする。

【教育理念・目標】

- ・患者やスタッフ、地域の人々など誰からも信頼される、人間力と技術力を併せ持った歯科衛生士
 - ・社会人、医療人として当たり前のことが当たり前に行える誠実で良識ある自立した歯科衛生士
 - ・自分に厳しく、常に技術や知識の向上を目指す歯科衛生士
 - ・チームとして周囲との和を大切にできる歯科衛生士
- 以上の育成を目標とする

III. 自己評価結果

(評価 4 : 適切 3 : ほぼ適切 2 : やや不適切 1 : 不適切)

(1) 教育理念・目標

・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	4
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・などが学生・保護者等に周知されているか	3.5
・教育目標、育成人材像は、専門分野に関連する業界のニーズに適合しているか	4
・学校の理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	3
・社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4

【取り組み状況・成果・課題】

入学時より学生及び保護者に学校の教育理念や目標を周知し、常に社会人、医療人としての意識を持たせ、講義や実習においても歯科衛生士という専門的立場から社会貢献できるよう指導している。

高齢化の進展、医療の高度化・専門化等の環境の変化に伴い、社会から求められるニーズも多様化しているため、将来的にどのようなものが求められるのか情報収集し、必要な歯科衛生士の資質を兼ね備えた人材の育成を行うことが大切である。

(2) 学校運営

・教育理念等に沿った運営方針が策定されているか	3.3
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	3.5
・学校運営のための組織を整備しているか	4
・人事、給与に関する規程等は整備されているか	4
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	3.2
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4

【取り組み状況・成果・課題】

運営方針については協議・検討を行い、適宜石川県歯科医師会理事会・代議員会の承認を得て学校運営を行っている。学校全体の方針や方向性は各種会議体によって全教職員に周知されている。業界のニーズは常に変化するため、教職員間のより密度と定時性の高いコミュニケーションが求められているとの認識を持っている。

(3) 教育活動

・教育理念等に沿った教育課程の編成をしているか	3
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3.2
・授業評価の実施・評価体制はあるか	4

・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3.4
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4
・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するマネジメントが行われているか	3.7
・関連分野における先端的な知識・技術等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われているか	3.6
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	4

【取り組み状況・成果・課題】

外部講師との連携を密に図り、学生に必要な教育体制を整える努力を行っている。また、様々な現場で実際に働く歯科衛生士を講師に招き、特別講義を行うことで歯科衛生士としての職業意識を高めることができている。

学生の学力低下や国家試験の高難度化に向けた教育体制の見直しを強化していく必要がある

（４）学修成果

・就職率の向上が図られているか	4
・資格取得の向上が図られているか	4
・卒業生の社会的な活躍および評価を把握しているか	3.8
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校教育活動の改善に活用されているか	3.7

【取り組み状況・成果・課題】

就職に向け個人面談を行い、個人の特性や希望を把握することで、学生が就職活動に満足できるよう取り組んでいる。

卒業時にアンケートを行い、次年度にフィードバックできるよう努めている。

（５）学生支援

・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
-------------------------	---

・ 退学率の低減が図られているか	3.2
・ 学生相談に関する体制は整備されているか	3.8
・ 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3.8
・ 学生の健康管理を担う組織体制は整備されているか	3.2
・ 課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
・ 学生の生活環境への支援は行われているか	4
・ 保護者と適切に連携しているか	3.2
・ 卒業生への支援体制はあるか	3
・ 社会人のニーズをふまえた教育環境が整備されているか	3.2

【取り組み状況・成果・課題】

教務全体で学生の日頃の状況を見守り、①学生生活 ②健康 ③学費 ④就職 等の分野において情報共有をして、何かあればすぐに対応できるような体制を整えている。

(6) 教育環境

・ 施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	4
・ 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な体制を整備しているか	3
・ 防災に対する体制は整備されているか	3

【取り組み状況と成果】

能登半島地震で施設内に影響の出た部分の修繕は完了し、教育施設として十分機能している。実習室の設備は経年変化に伴い、今後劣化し設備の修復など更新が必要となることも踏まえ、今後準備が必要である。

(7) 学生の受け入れ募集

・ 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか	4
・ 学生募集活動を適切かつ効果的に行っているか	4
・ 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	4
・ 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	4

・学納金は妥当なものとなっているか	4
-------------------	---

【取り組み状況・成果・課題】

映画館でのCMやテレビ番組での学校紹介など、メディアを使った広告を行った。SNSでの広報活動も在校生に協力してもらい、高校生に学校の様子がアピールできるよう努めている

(8) 財務

・中長期的に学校の財政基準は安定しているか	4
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
・財務について会計監査が適切に行われているか	4

【取り組み状況・成果・課題】

担当理事と相談調整しながら、収入と支出のバランスをとりつつ運用している

(9) 法令等の遵守

・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営を行っているか	4
・学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	4
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4
・自己評価結果を公表しているか	4

【取り組み状況・成果・課題】

本校では、専修学校設置基準、歯科衛生士学校養成所指定規則、歯科衛生士養成所指導要領等の法令や基準等に基づき学校運営を行っている。個人情報については、個人情報の適正かつ効果的な活用等をもって、関係者の安心・安全を確保するよう引き続き整備する必要がある。

(10) 社会貢献・地域貢献

・学校教育環境や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3
・学生ボランティア活動を奨励、支援しているか	3
・地域に対する公開講座・教育訓練受託等を積極的に実施しているか	2

【取り組み状況・成果・課題】

本校は地域医療の人材を育成する教育機関であり、社会貢献や地域貢献、等の取り組みとして、石川県歯科医師会の行う公衆衛生活動に積極的に参加している。

5. 総評

自己評価は、本校の実態と照らし合わせ、学校運営委員会において項目ごとに協議した結果、全ての項目においておおむね適切に行われていると判断した。

学校関係者評価委員より、本委員会の任期を2年とする方が議事運営の観点からも運営しやすいのではとのご意見があった。本委員会の運営に関する取り運びも含め、今後の検討課題としていく。

今後も課題等を検討し、来年度の自己評価に繋げることにした。

以上